様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	第1回ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり 条例（仮称）策定委員会			
開催日時	令和3年5月24日（水） 開会時刻 午後 1時30分 閉会時刻 午後 2時30分			
開催場所	市役所本庁舎5階 A大会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	小栗 俊之	委員	柳川 往子
	副委員長	中村 友紀	委員	山崎 直樹
	委員	山城いづみ	部長	篠澤眞由美
	委員	風間 和江	課長	土屋 範久
	委員	進藤美奈子	副課長	齊藤 隆之
	委員	風間 清武	係長	関根 寛之
	委員	吉田 武陽	主任	斑目 圭介
	委員	土屋健一郎		
会議の議題	1 条例構成案について 2 その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0 人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	こども・元気健康部 子育て支援課			
議事の確定	確定年月日	令和3年 月 日		
	記名押印 又は署名	役職名 委員長 小栗 俊之		

別紙

発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局	<p>皆様、こんにちは。ただいまから、令和3年度第1回ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり条例（仮称）策定委員会を開催いたします。</p> <p>まず、会議の開催にあたり、ふじみ野市では審議会等の会議の公開に関する規則を制定し、開かれた市政の実現を推進するため、会議を公開することと規定しております。本会議におきましても公開の対象となっておりますので、御了承いただきますようお願い申し上げます。また、議事録についても公開の対象となりますので、会議の御発言等を録音させていただくこととともに、今回は会議の写真も撮らせていただき、今後ホームページ等で掲載させていただきますので、併せまして御了承願います。</p> <p>なお、本日の会議の傍聴希望者はありません。</p> <p>また、本日、委員の細谷様は欠席でございます。</p> <p>続きまして、本委員会の小栗委員長より御挨拶いただきたいと思います。</p>
小栗委員長	<p>皆様、改めましてこんにちは。今回は条例の原案が事務局より出てきておりますので、皆様の立場から御審議していただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>【配布資料の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・5 / 24 資料1 条例構成案 <p>それでは議事に移りますが、会議の進行は、ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり条例（仮称）策定委員会条例第6条において、委員会の会議は、委員長が議長となると規定されておりますので、小栗委員長に議事の進行をお願いいたします。</p>
小栗委員長	<p>それでは早速議題に入ってまいりたいと思います。</p> <p>本日は2つ議題があります。まず（1）条例構成案について、事務局から御説明していただきたいと思います。</p>

事務局	【資料 1 に基づき説明】
小栗委員長	<p>御説明ありがとうございました。</p> <p>誤字脱字を含めた校正すべき点、形式、内容等について、御意見をいただければと思います。</p> <p>前文については、この条例が市民の方へのお願いを基本とするものとなりますので柔らかい印象の「ですます調」、本文については、一般的な行政の表記の仕方として「である調」になっているということです。まずは全体を通して委員の皆様から何かお気付きの点があればお願いします。</p>
中村副会長	<p>「こども」の定義を「18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者」とした根拠は何でしょうか。</p>
事務局	<p>児童福祉法や児童の権利に関する条約で定められている18歳未満の児童という捉え方が基本にありますが、通常高校卒業する年の3月31日までのこどもが含まれるようにするためにこのように規定しております。</p>
吉田委員	<p>第9条3号に規定する「関係機関」とはどのようなものがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>大きなものとして市、教育委員会の他、PTA、児童相談所、児童入所施設など、想定される機関にさまざまなものがあって全て列挙することが難しいため、あえて関係機関という表現を用いており、関係する機関が広く含まれるようにしております。</p>
風間和江委員	<p>こどもの年齢によっても対応の仕方や関係する機関が分かれてくるのではないかと思います。</p>
小栗委員長	<p>条文の形式は抽象的、簡潔な表現に留めておくとしても、どのようなものが含まれるのかについて、市民の方にお答えできるようにしておいていただければと思います。</p>
事務局	<p>補足で説明させていただくと、条例を制定しただけで終わりではなく、広く周知啓発していくことが重要となってきます。その際には、例えば、埼玉県には権利擁護委員会といういじめを再検証する第三者機関がありますので、こどもたちにはこんな相談機</p>

柳川委員	<p>関もあるよということが伝わるようにしていきたいと思っています。どういう形で周知啓発するかについては、今後議論していかなければならない内容だと思っています。</p> <p>条例構成案には必要と思われる要素が取り込まれており、きれいにまとめられていると思います。</p>
土屋委員	<p>吉田委員が指摘していたように抽象的な表現を用いている箇所については説明が必要になると思います。また、そもそもこの条例自体をどうやって周知啓発していくのかという点が重要になってくると思いますので、条例の制定に合わせてパンフレットやガイドブックのような物での周知啓発をするのはいかがでしょうか。</p>
小栗委員長	<p>条例の内容は、大人だけでなく、子どもにも伝えていく必要性があると思います。土屋委員から御意見のあったパンフレットやガイドブックでの周知啓発について、事務局としてはどのように考えていらっしゃいますか。</p>
事務局	<p>御意見のあった周知啓発の方法について、他自治体の事例として参考の資料を追加でお配りしたいと思います。</p> <p>【追加資料の配付】</p> <p>お手元に配付させていただきましたのが、一昨年前に条例を制定した西東京市の副読本という物になります。やはり条例だけでは伝わりづらいということもあり、小学校5、6年生を対象とした内容に、挿絵等も加えて分かり易いように作られています。</p> <p>事務局としては、本市においてもこのような副読本を作成したいと考えております。この点については、委員の皆様にも御意見をいただきながらまとめてまいりたいと思っています。</p>
小栗委員長	<p>大人にとっても子どもにとっても、条例の内容を噛み砕いた副読本のようなものがあれば分かりやすいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>委員の皆様が異論がなければ、委員会の提案として、副読本を作って、周知啓発のための手段としていきたいということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なしの声)</p>

風間和江委員	このような副読本を通じて、こどもたちに条例の内容を知ってもらい、その中で新たな課題が出てきたら、またこどものたちの意見を聴いて、さらに積み上げていくという形にすれば、より良いものになっていくと思います。
小栗委員長	条例を制定した後も、しっかり条例の進捗管理を行っていくということですね。重要なことだと思います。
進藤委員	条例構成案には他人の権利を尊重するといった内容が含まれていて良いと思います。また、このような内容を周知するための副読本があることにより、こどもたちが自分の権利の大切さを学び、他人の権利の大切さも学ぶきっかけになれば良いと思います。
風間清武委員	前文にある「大人に手本を見せてほしい」という箇所が良いと思います。こどもは大人よりも鋭い目線で見えています。例えば、本市では歩きたばこ禁止となっていますが、こどもたちは、大人たちが歩きタバコやポイ捨てしている光景等をよく見ているのだと思います。
小栗委員長	「大人に手本を見せてほしい」という部分は、こどもたちからの訴えであり、私たち大人に対する戒めにもなります。
風間清武委員	よくお母さん方から、こどものことをどこに相談したらいいのかわからないという声をいただくことがあります。相談先等、活字だと伝わりにくいものであっても、副読本として絵を交えながら書かれてあれば分かりやすいと思います。
風間和江委員	身近な相談先として、気軽に地域にいる民生委員・児童委員に相談していただきたいと思います。
山崎委員	副読本に加えて、ポスターを作るのはいかがでしょうか。市役所、学校、公民館、図書館等に掲示して、市民の意識を高めていくことも重要であると思います。
小栗委員長	副読本の他に、ポスターという御意見も出ましたが、いかがでしょうか。ポスターは通りすがりでも目に入るものですので、意識啓発には効果のあるものだと思います。

吉田委員	<p>条例構成案の内容は良いかと思えます。やはり周知啓発する手段が重要となってきます。副読本があれば小学校高学年の子どもたちでも理解できますが、さらに小さい子どもたちにどのように伝えていくかの工夫が必要になってくるのではないかと思います。</p>
小栗委員長	<p>この条例の対象となる子どもは「18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者」ですので、小学校低学年の子どもたちにもわかるように絵や図形等を入れて工夫する必要があります。</p>
山城委員	<p>子どもたちに実施したアンケート調査結果の中で、「大人もルールを守ってほしい」という回答が多かったことに、とてもショックを受けました。同時に子どもたちは大人のことをしっかり見ているのだなと感じました。前文の中では、「大人に手本を見せてほしい」と入っていますが、第3章の「大人等の役割」の中にも、大人に自覚を持たなければならないという旨の規定を入れた方が良いのではないかと思います。</p>
中村副委員長	<p>前文だけでなく、本文についても「ですます調」にした方が、より読みやすく、柔らかな表現になるので、市民の方からの協力も得られやすくなると思います。</p> <p>また、大人が子どものことで困ったときに相談しやすいように、副読本の中に大人の相談先を入れてもらえれば良いのではないかと思います。</p>
小栗委員長	<p>「ですます調」については、検討の余地があればお願いします。大人の相談については、困ったときの相談先が明確にされていれば、行動を起こしやすくなりますし、子どもだけでなく大人にもやさしいまちになると思います。</p> <p>他に、全体を通して何かありますでしょうか。</p>
事務局	<p>この条例において市の果たすべき役割が大きいことから、庁内の会議では市の役割をクローズアップさせてはどうかという意見がありました。第3章の中には「大人等の役割」ということで、保護者、地域住民等の規定が続いて、最後に市の役割が規定されていますが、章立てとして、市の役割を独立させることはいかがでしょうか。独立した章立てとすることにより、メッセージ性が</p>

<p>小栗委員長</p>	<p>強まると同時に、市の役割が明確になり、分かりやすくなると思います。また、保護者や地域住民等の役割についても、独立した章で役割を明確化するのはどうでしょうか。</p> <p>委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>実際に目にしてみないとイメージが湧かないものだと思いますので、事務局で修正していただいたものを見比べながら御審議していただくのはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>文書法務担当に相談しながら修正したものを、次回の会議の時に委員の皆様にご覧いただき、御意見をいただければと思います。</p>
<p>小栗委員長</p>	<p>他になれば、議題（２）その他について、事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後のスケジュールについてですが、次回の会議は８月を予定しております。お盆前に実施を予定していますが、日程の詳細については、委員長と調整をして委員の皆様にご早めに御連絡いたします。また、資料については７月２０日頃までにはお渡しできるようにしたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
<p>小栗委員長</p>	<p>それでは、以上で議題２つが終わりましたので、令和３年度第１回ふじみ野市こどもにやさしいまちづくり条例（仮称）策定委員会を終了させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>